

すべてに優やさしく
いつまでも悠ゆとりある
やすらぎの邑ばしょでありたい

vol.72

「今日も楽しかった」と
言っていただけでいいように…

2016

春

号

杉和会 指針

社会福祉法人改革に伴い、法人組織の見直しが問われています。また、ストレスチェックの実施により、職員の健康管理についての充実もより問われています。尚且つ、平成27年度介護報酬改正により、収支バランスについても厳しさが増してきましたが、社会福祉法人の使命として、地域貢献をすべきことは当然のものとして捉えていかなければなりません。また、川崎市にある株式会社の有料老人ホームにおいて悲惨な事件が報道を賑わしている問題を考えた時、職員の資質向上のための計画・実施の充実も欠くことができません。社会福祉法人にとって厳しい状況ではありますが、今まで以上に寄り添いケアの充実を図り、地域にとって安心した生活の一助となるために、法人職員一丸となって取り組んでいきます。また、昨年12月に完成したコミュニティハウスを活用し、施設間交流、地域間交流の充実を図り、その事が結果的に、人材の掘り起こしになるような企画にも留意していきます。

杉和会 理事長 若山 宏

コミュニティハウス完成

コミュニティハウスの事業展開への想い

昨年末に完成したコミュニティハウスの展開には大きく二つの狙いがあります。一つ目は、地域の為に如何に役立つか。二つ目は、当法人職員の人材確保と育成に如何に役立つかです。その意味から言って、コミュニティハウス利用第一号が岐阜経済大学コミュニティ福祉学科の社会福祉士受験対策の合宿でありましたし、第二号が、スコープ三味線の家元と大垣を中心にしたボランティア集団、てるてる座の交流会でした。また、当法人四月採用の新人研修を3月10日、16日、22日の3回にわたりコミュニティハウスで実施できたことは、意味深い展開となりました。今後は、例えば、地元関ヶ原病院の職員さんとの交流であったり、地元小学校、中学校の親子介護体験など活用の仕方は多岐に渡ります。この想いは、秋田杉の材料を提供して下さった岐阜経済大学の佐藤先生も同じだと思います。皆様方のご利用をお待ちしております。

社会福祉法人 杉和会
理事長 若山 宏

優・悠・邑 指針

平成27年度から基本的に要介護度3以上でない入居出来ない制度になり、特養の重度化が益々進むと同時に、今後700万人にも増えると予測されている認知症についても念頭に置いた体制をとっていかなければなりません。以下に、具体的展開について箇条書きで示します。

- ①認知症の方の覚醒を促すために水分を多く摂っていただき、トイレでの排泄を職員が自分の事のように喜べる職員集団。
- ②人としての尊厳を持ちながら、施設で天寿を全うしていただき、家族と共に寄り添いケアの出来る職員集団。
- ③報告・連絡・相談がしっかり出来る事によって、効率よく、高品質なケアができる職員集団。
- ④委員会活動や研修会の企画・実践、或いは専門性の充実のための研修会への積極的な参加への支援により、段位制度を導入する。
- ⑤介護者教室、家族会の充実を図ると共に、地域交流(保育園・小学校・中学校・高校・短大・専門学校・大学及び自治会・老人会等)も、より充実させていく。

優・悠・邑 施設長 若山 宏

優・悠・邑 和合 指針

早いもので優・悠・邑 和合がオープンをして2年が経ち、3度目の春を迎えました。この2年間は関ヶ原の本部施設を手本として、入居者の皆さんが安心して毎日の生活を楽しく過ごしていただけることを念頭に職員一同で取り組んできたところです。また大垣の和合地域の一員に加えて頂けるよう様々な活動にも参加をさせて頂きました。ご家族、地域の皆様を始め多くの方々のご協力の賜物と感謝申し上げます。現状は勿論まだまだ不十分と考えており、更に地道に歩み進めてまいります。この地域にとって掛替えのない存在と思って頂くためには、より質の高い介護サービスを提供するとともに、これまで以上に多様な地域の皆さんとの交流をお願いしていく所存です。職員は日々の業務を通じて、また各種の研修への参加により介護技術を磨き上げていきます。また地域との交流では介護技術の専門家集団としての施設の能力を活用して頂く取り組みを進めるとともに、新たに災害時の対応について取り組んでいきたいと考えています。職員一同、こうした目標に向かって、これまで以上に研鑽を重ねてまいります。平成28年度も皆様の相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

優・悠・邑 和合 施設長 佐藤 道夫

コミュニティハウスの研修室が今までがらんとしていたのですが、この度、入居者様のご家族、一色重紀様から机と椅子をご寄附していただき、研修室らしくなりました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

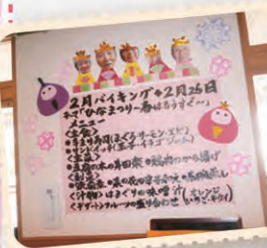
2月のテーマは「ひな祭り」です。手毬寿司やハマグリのお吸い物、味噌田楽など様々な料理が並びます。手毬寿司は丸くて可愛いので大変好評でした。サンドイッチやデザートとの盛り合わせも大変豪華で、皆さん、たくさんお代わりされていました。



バイキング 1月・2月



1月のテーマは「節分」です。寿司職人の方が各フロアを回り、入居者・利用者の方々の目の前で太巻づくりの実演をしてくださりました。今年の恵方は「南南東」です。皆さん、南南東を向いて握りたての太巻を召し上がっておられました。皆さんに幸せが訪れますように。



お屠蘇・お抹茶の振る舞い

毎年年始には、理事長自ら入居者・利用者の方々にお屠蘇を振る舞うため、各フロアを回ります。また、お屠蘇が苦手な方には、副施設長に立ていただいたお抹茶を召し上がっていただき、お正月気分を味わっていただきました。

1月1日



お正月 1月1日

今年も無事、新年を迎える事が出来ました。入居者・利用者の方々の無病息災を願って、職員が獅子舞に扮して各フロアを回っています。大きな口を開けて頭をガブリッ! 邪気を払い健康で楽しい一年を過ごしていただきたいと思います。



節分

2月3日

「鬼は一外!」「福は一内!」威勢の良い声が聞こえてきます。鬼に扮した職員めがけて、入居者・利用者の方々が、豆がわりに作った紙玉を楽しそうに投げつけています。鬼はその勢いにビックリ! タジタジになり、慌てて退散しました。鬼を退治して、皆さんに幸せが訪れますように。



イベント 紹介 関ヶ原

思い出アルバム

最近の楽しかった出来事を報告します!

鏡開き

1月11日



年末に入居者・利用者の方々、職員でついたお餅をお汁粉にして皆さんに召し上がっていただきました。「美味しい!」「体があつたまるね。」と大変好評でした。

盆梅展

2月19日・20日



米原市のグリーンパーク山東で開かれた「盆梅展」に行ってきました。今年は入居者様のご家族も一緒に参加していただきました。綺麗な梅の花を前に、ご家族で会話も弾み、一緒にお茶やお菓子を食ながらゆっくりとした時間を過ごしていただきました。今回のイベントをきっかけに、ご家族の方々のご協力をいただき、より一層身近な施設となるようにしていきます。

ふれあい劇場

1月23日



地元関ヶ原町のボランティアグループ「愛・あい座」の方々が来苑され、人形劇を披露してくださいました。演目は「ごんぎつね」でした。楽しくも最後は涙なしではられない内容に、入居者・利用者の方々は真剣な表情で見入っておられました。道具類はすべて手作りで、会場設営も時間をかけて作っていただきました。毎年、来苑していただいておりますが、本当にありがとうございます。





泉会による日本舞踊

1月29日

色とりどりのきれいな着物。しなやかな身のこなし。日本舞踊はゆっくりと時間が流れます。入居者・利用者の方々は心静かに見入っておられました。



餅つき

12月28日

昔ながらの石臼での餅つきです。「よいしょー!よいしょー!」と皆さんから元気な掛け声。あつという間につきあがりました。つきたての柔かなお餅はおいしそうですが、鏡開きまでおあずけです。



節分 2月3日

職員の扮した鬼に向かって、元気よく「鬼は一外!」と豆(丸めた新聞)を投げておられました。最初は元気だった鬼たちも、入居者・利用者の方々にやつつけられて、へとへとなり退散していきました。



獅子舞

1月5日

獅子舞に扮した職員が各フロアを練り歩き、無病息災を願って皆さんの頭をかじってまわりました。今年も皆さん元気にお過ごしいただけますように!



イベント紹介 思い出アルバム

最近の楽しかった出来事を報告します!

2月7日

夫婦デュオ

「嬉しがり屋・ゆきち&かづね」

ご夫婦でボランティアをされている「嬉しがり屋・ゆきち&かづね」さんが来苑されました。旦那様がギターを弾き、奥様が歌を歌い、懐かしい歌の数々に入居者・利用者の方々も思わず口ずさんでおられました。また、当苑最高齢103歳の入居者様からのリクエスト「タヤケ小やけ」にもこたえて一緒に歌っていただきました。訪問後に、再訪も約束して下さいました。またの訪問をととも楽しみにしています。



てるてる座

スコープ三味線公演

2月15日

いつも懐かしい歌や踊りを披露して下さる、てるてる座の皆さんは、「スコープ三味線」の世界大会の団体の部で優勝し、世界一になりました!今回は青森県からわざわざ家元の館岡屏風山さんも一緒に出演して下さいました。



水の中から突然金魚が現れたり、棒だと思っていたら花に大変身したり、目の前でくりひろげられる手品の不思議な世界に、入居者・利用者の方々、目がまん丸!です。

マジックショー

1月21日

鏡開き

1月5日

年末についてお餅を小さくカットして職員がぜんざいを作りました。お餅は小さかったけど、入居者・利用者の方々は満足げでおいしそうに召し上がっておられました。



平成28年度 委員会の指針 関ヶ原

身体拘束検討委員会

委員長 若山 宏

川崎市の有料老人ホームの殺人事件を分析していくと、「お世話する」或いは「お世話させて頂く」という発想は一切排除され、業務に没頭し続け、「報告・連絡・相談」であったり、「入居者様の楽しみ」の部分や「職員のやりがい」の部分に剥奪した考えで終始一貫していたのではないかと。その意味から、身体拘束をしないという発想ではなく、入居者様やそのご家族の立場にたった考え方でケアの充実を図り、余裕を持ったケア体制に努め、そのための内部研修や外部研修にも力を入れていきたいと思います。

褥瘡対策委員会

委員長 水野 貴子

前年度は褥瘡の入居者様も少なく、重度の褥瘡にまで悪化する事はありませんでした。職員一人ひとりが対応策を個々に検討し、早期の対応ができるようになってきたからだと思います。今年度も入居者様一人一人の個別の対応、そしてより良いケアと質の向上へとつながるようにして、褥瘡ゼロを目指し、褥瘡のリスクの検討を重ね、個々の入居者様に対応しながら、その成果を検討していきます。

リスク検討委員会

委員長 吉田 篤

介護する場面においては、様々なリスクが存在します。ひとつひとつの事故やヒヤリハットに対し、きちんと反省し、その後のケアにつなげていく事が最も重要だと考えています。各フロアの状況をしっかりと把握し、評価し実践していくPDCAサイクルをしっかりと行い、同じことを繰り返さないようにしていきます。同様のリスクが他に無いかなど、水平展開を行うケアの向上に努めていきます。

在宅委員会

委員長 北島 賢治

26年度、取り組めていなかった介護者教室を27年度では、認知症・水分排

便コントロール・食事をテーマに行いました。認知症をテーマにした教室の際には、参加者の方から多くの感想をいただきました。そのことから、認知症をテーマにした教室の開催を中心に計画していきます。外部から講師を招いての開催や、施設で実践している取り組みを公表することで、分かりやすい教室になるよう取り組んでいきます。また介護者教室以外でも、明るい在宅生活の支援に繋がるよう活動していきます。

食事検討委員会

委員長 若園 貴宣

新たな年間目標を「正しい食事介助を身に付ける」としました。食事介助と一言で言っても、麻痺のある方、飲み込む力が弱っている方など、入居者・利用者の方々の状態によって食事介助の方法は異なります。そして安全に楽しく食事を召し上がっていただくためには、状況に応じた食事介助が必要で、職員一人ひとりが「正しい食事介助を身に付ける」ことが出来るよう研修を企画・開催し、介助力のヘルプアップを目指します。

感染症対策委員会

委員長 小野 順子

「職員個々が感染症対策の予防の知識を理解し、予防の技術を用いてケア

ができる」を目標に活動していきます。感染症に罹患すると、発熱・食欲不振など苦しい時間を過ごすことになりかねません。このような状況を招かないためにも、体調不良を早期に気付く事の出来る観察力も必要です。委員会としては、感染症に関する事例をもとにリスクを検討し、予防に努めていきます。

行事委員会

委員長 堀江 忠史

4月は花見、8月は夏まつり、12月はクリスマス会、もちつき大会など様々なイベントを計画し、実行していきたいと考えています。また、施設行事以外でも、地域のお祭りなどに参加を行います。いつまでも明るく、元気で生活していただけるよう、そして施設での生活をより楽しんでいただけるように全職員が協力し、取り組んでいきます。

排泄検討委員会

委員長 服部 敬充

日中のトイレでの自然な排便を目標に取り組んでいきます。その目標に向かって、昨年度は全職員が「丸とナリ」日中のベッド上でのおむつ交換をゼロにすることが達成できました。しかし、水分・食事・運動といった基本ケアがおろそかになっていると感じ

ています。なかでも、今年度は水分ケアに力を入れていきたいと考えています。現在は平均水分摂取量が約1,320ccであり、1,500cc以上を目指して取り組んでいきます。

入浴委員会

委員長 長野 傑

昨年度末、ミスト浴とソファータイプの個浴という新しい特浴機を2台購入いたしました。今までも行ってきただことですが、新しい特浴機の導入により、これまで以上に入居者・利用者の方々に毎回気持ちよく入浴していただけるようになっていきます。今後も、その方の身体状態に合わせた入浴方法でお風呂の提供を行っていただけるよう、邁進していきます。

広報委員会

委員長 武藤 朝記

昨年の11月にホームページの全面リニューアルを行いました。そして、この4月、春号より広報誌の全面リニューアルも行い、情報発信のツールが新しく生まれ変わりました。情報量を増やすだけでなく、入居者・利用者の方々の日々の暮らしや、施設や職員の介護に対する取り組みを分かりやすく紹介し、より多くの方々に知っていただくよう活動を続けていきます。

平成28年度 委員会の指針 和合

感染症対策委員会

委員長 高橋 和子

委員会では2年かけ、「スタンダードプリコーションを実践すること」を目標に活動しました。その結果、職員の手洗い遵守率は格段に向上しました。入居者様に安全で安心な環境を提供するために、さらに質の高いケアを提供するためにも活動を継続していきます。

地域貢献委員会

委員長 吉澤 進治

昨年度は、地域の行事に積極的に参加をしました。いろいろなところに職員が顔を出し、地域の方と一緒にさまざまなことを行いました。そのかいもあってか、少しずつ施設に来てくださる方が増えてきました。それに比例するかのように、和合地区の方の、

リスク検討委員会

委員長 伊藤 良明

事故は必ず起こるものとしてとらえ、同じ事故の繰り返しを少なくします。どうして同じ事故の繰り返しを少なくするのかという点、事故が起こると、痛い、悲しい思いをするのは利用者様、その家族、そして職員です。それを少なくすることに努めたい。そのために、研修の企画や参加は勿論、事故の集計や分析を行い施設全体に周知していきます。

身体拘束検討委員会

委員長 服部 藤高

安易な身体拘束をしないようにします。こうして安易な身体拘束をしないのか、それはご本人の身体的、精神的な弊害はもちろん、職員の士気にも関係してきます。引き続き身体拘束ゼロを継続できるように福祉用具や環境を工夫していきます。

行事・余暇委員会

委員長 馬淵 真

昨年度は利用者参加型行事を増やし、広報誌を毎月作成しご家族や利用者様に啓発していく目標を掲げ、行事に取り組んでまいりました。今年も桜の花見に始まり、おやつレクリエーションや敬老週間、秋の外出、クリスマス会などを計画しています。より多くの利用者様の笑顔や暮らしの生きがいを見つけて頂けるよう、今年度も今までの楽しさを提供していただけるよう委員会、優悠邑和合全職員が丸となり活動に取り組んでいきます。ですのでよろしくお願い致します。

入浴委員会

委員長 佐藤 由季

各フロア毎に異なる入浴機器が揃っています。これにはそれぞれのご利用者の方に本当に合った入浴を楽しんで頂きたいという願いが込められています。日常の生活の中で状態は日々変わっていきます。昨日まではこのお風呂が一番合っていたけれど、今日は違うお風呂の方が合っているのでは、そんな気付きを常に職員全員が意識出来るような活動をしていきます。

食事委員会

委員長 田中美香

利用者様の健康を守るには、「食べる」事から始めると考えています。そして「食べる」をより安全に行えるように、摂取する栄養と食事形態・口腔内の機能維持と向上を考えていきます。高齢者の死因第3位に挙げられている肺炎を予防する事は利用者様の健康で安全な生活を守る事に繋がります。「健康は口から」を意識し利用者様の生活をお手伝いしていきます。

褥瘡対策委員会

委員長 牧野 佑香

褥瘡においては、まず予防が第一になります。一度出来てしまうと治るのに長期を要します。発生した場合には早期発見と治療が重要となり、また同

時に他の場所に来れないよう予防も引き続き行います。治った後も再発の防止をします。自分で動く事が出来ない失禁がある等、褥瘡の出来やすい要因を理解し、どう予防していくのかを検討して、褥瘡を作らないケアに努めてまいります。

広報委員会

委員長 若山 誠

広報委員会の活動として昨年度は大きな変化がありました。ホームページのリニューアルとこの広報誌のリニューアルです。今年度はこの2つのコンテンツをより充実させる事を最大目標に、特にこの広報誌は和合のページが増量しておりますので、昨年度以上にご利用者様の普段の生活や様々な行事・ボランティアの来苑等をより多くの方に届ける事が出来るように活動していきます。





多床室改修工事

1月8日～3月12日

岐阜県の補助を受け、多床室のプライバシー保護のための改修工事が行われました。今までは、カーテンで仕切られていましたが、より一層のプライバシーを確保するため障子戸に改修しました。スペースも確保しており、より快適な生活環境を提供していきます。



福祉車両納車 3月3日

日本財団による福祉環境の向上の取り組みとして、福祉車両が贈呈されました。入居者・利用者の方々に、より快適な環境を提供することが出来るようになりました。大切に使用させていただきます。



理事会・評議委員会

3月26日に平成27年度第5回理事会及び第4回評議委員会が開催されました。法人の運営に関してご討議いただきました。新年度の指針も示され、意義深いものとなりました。



小野野球少年団の卒団式 3月5日

近くの小野小学校の野球少年団の皆さんに毎月第4土曜日に当施設の多目的室を提供しています。ここで試合の反省会や作戦会議などを行っています。3月で小学校を卒業する団員のための卒団式に多目的室やホールを提供しました。会場を前日に折り紙などで飾り付けをして準備していました。当日は、卒団する生徒たちに記念品が贈られ、みんなで一緒に歌を唄い、今後を励まし合っていました。

ピアノ発表会

1月31日

多目的ホールでピアノ教室のピアノ発表会が行われました。演奏する子供たちの親御さんと一緒に当苑の入居者・ご利用者様も演奏を聴きました。子供たちはちょっと緊張気味でしたが、美しい演奏に、みなさん聴きいっておられました。



施設内研修

1月8・14日 排泄介助研修

（柳）ブドウコーポレーションの方を講師に招き、正しいオムツの当て方の研修が行われました。入居者・利用者の方々に、より快適に過ごしていただくためには、職員のケアの質の向上は欠かせません。しっかりと勉強し、今後にかしてまいります。



1月15・26日 機械浴研修

新しい機械浴が2種類入りました。1つはミスト浴です。ミスト浴とは、細かい霧状のシャワーにより、体をきれいにするものです。皮膚の弱い方にも負担が



軽く、保温効果も高いものとなっております。もう1つは個浴ですが、浴槽が広くゆったりしており、快適に入浴していただけます。



寄附品

高木小夜子様
上野吉一様
安藤道子様
一色重紀様
伊田仁衛様
山田衛様ご家族
川畑ち江子様ご家族
(順不同)
ありがとうございました。

施設訪問

和歌山県紀伊松風苑様・・・5名
全国老人福祉施設協議会事務局長 天野尊明様

研修に行ってきました

平成27年度
1月25日 岐阜県老人福祉施設協議会西濃支部後期研修会・・・大垣市
1月29日 21世紀委員会合同委員会・・・名古屋市
1月6、10、13、17、20、24日 3月2、9、14日 第一回介護職員等による喀痰吸引等研修1、2号研修・・・大垣市
1月30日 岐阜県老人福祉施設協議会施設長・事務長等研修・・・岐阜市
2月4～5日 高齢者福祉施設における多職種連携推進研修会・・・横浜市
2月9日 岐阜県災害派遣福祉チーム(岐阜DCAT)災害検討会議・・・岐阜市
3月23日 第5回介護力向上講習会岐阜分校・・・岐阜市
3月24日 全国老人福祉施設協議会認知症介護フォーラム2015・・・東京都
【詳しくはHPをご覧ください。感想などが読んで頂けます。】

施設訪問

●そのだ修光理事来苑(1月29日)

今年の参議院選挙に福祉の現場からの代表として出馬される全国老人福祉施設協議会理事である、そのだ修光理事が来苑して下さいました。そのだ理事は鹿児島にある施設の理事長もしておられ、現場を理解されている方なので、職員一同もそのだ理事の激励と出馬に向けての熱い想いに感銘を受けました。



研修に行ってきました

平成27年度

- 1月25日 岐阜県老人福祉施設協議会西濃支部後期研修会・・・大垣市
- 2月4日～5日 高齢者福祉施設における多職種連携推進研修会・・・横浜市
- 3月3日 大垣市介護予防研修会・・・大垣市

【詳しくはHPをご覧ください。感想などが読んで頂けます。】





関ヶ原の施設の周りには多くの桜の木があり、毎年、見事な花を咲かせてくれます。今年、優・悠・邑では入居者様のご家族を招待し、施設内で一緒に花見を楽しんでいただきたいと思っています。暖かい春を感じていただくと、皆さんの表情も自然と笑顔になっていくのではないのでしょうか。

4月
卯月
うづき

毎月の定期的な行事・イベント

関ヶ原

- | | | | | | |
|-------|-----------|----------|-------------------|----------|-----------------|
| 毎月1回 | バイキング料理 | 毎月2回 | フットマッサージ | 毎月1回 | 理髪 |
| 毎月2回 | 理美容 | 第3木曜日 | フルーツ(ピロピロ隊)ボランティア | 毎週月曜日 | 和紙ちぎり絵 |
| 第4水曜日 | 三味線ボランティア | 第2・第4金曜日 | 喫茶ボランティア | 第2月曜日 | てるてる座カラオケボランティア |
| 第2木曜日 | 関ヶ原日赤奉仕団 | 第3金曜日 | 花本様カラオケボランティア | 第2・第4木曜日 | ピアノ演奏会 |
| 毎週火曜日 | 書画教室 | 第2火曜日 | コーラス奏音 | 毎週1回 | マッサージ |

※月によっては、日時が変更になる場合がありますので、職員におたずねください。このほかにも随時、ボランティア活動が行われます。

和合

- | | | | | | |
|-----------------|---------------|------------|-------------------|----------|-----------|
| 毎週1回 | 選択食の日 | 第3木曜日 | フルーツ(ピロピロ隊)ボランティア | 第5金曜日 | 日舞ボランティア |
| 2月・6月・10月の第3水曜日 | 三味線ボランティア | 奇数月の第4月曜日 | てるてる座カラオケボランティア | 第2・第4木曜日 | 書画教室 |
| 第1水曜日 | 嬉しがり屋・ゆきぢ&かづね | 偶数月の第3月曜日 | カラオケ・デュオ | 毎月1回 | ピアノコンサート |
| 毎月1回 | ピアノコンサート | 毎月2回 | 理美容 | 毎月2回 | マッサージ |
| 年1回 | 和合老人クラブ寿会 | 7月・10月・12月 | 小野幼稚園 | 不定期 | 大正琴ボランティア |
| 不定期 | マッチャンマジックショー | | | | |

※月によっては、日時が変更になる場合がありますので、職員におたずねください。このほかにも随時、ボランティア活動が行われます。



新年度を迎えるにあたって、広報誌「ゆう」も全面リニューアルしました。より多くの情報をお伝えするとともに、分かりやすい広報誌を目指していきます。日頃の入居者・利用者の方々の様子をより伝わりやすいように工夫していきます。また、各委員会も新たな気持ちでより質の高いケアを提供するために指針を出しました。各委員会で連携をとり、日々考えながら実践していきます。今年度もよろしくお願ひ致します。